



主題

下田クラブ会長	『広げようワイズの精神、そして40周年の自覚を』	土屋 誠
【国際会長】	“Building today for a better tomorrow”	Jennifer Jones
【アジア地域会長】	“Action!”	田中博之
【東日本区理事】	“勇気ある変革、愛ある行動！”	山田敏明
【富士山部長】	“共に歩もう、素晴らしきワイズ”	長田俊児

今月の強調月間テーマ

『IBC/DBC』

IBC = International Brother Clubs (国際兄弟クラブ)

DBC = Domestic Brother Clubs (国内兄弟クラブ)

9月の下田クラブ40周年のときはDBCの札幌北クラブと親しく交流した。2020年6月の東日本区大会の北海道でまたお会いできることを楽しみにしています。

クラブ情報

会長:	土屋 誠
副会長:	池谷 淳
直前会長:	臼井啓太郎
書記:	土屋 恒夫
会計:	土屋 誠
監事:	長田 俊児
監事:	清野 大樹

第466回 伊東・下田クラブ合同 新年例会 プログラム

日時: 2020年1月13日(月) 18:30~21:00    ホスト: 伊東クラブ  
 場所: 暖香園 ル・オール会議室 伊東市竹の内1-3-16    Tel: 0557-37-1512  
 受付: 牛田俊夫 Y's・杉本隆夫 Y's    司会: 金子正樹 Y's

◇ 開会点鐘	伊東クラブ 久保田康正会長	◇ 下田クラブ書記報告	土屋恒夫 Y's
◇ 開会の言葉	梅原敬二 Y's	◇ 誕生・結婚祝	親睦委員会
◇ ワイズの信条	杉本隆夫 Y's	◇ 会食(食前の感謝)	稲葉富士憲 Y's
◇ ワイズソング	— 同	◇ 富士山部各クラブ会長挨拶	各クラブ会長
◇ 伊東クラブ会長挨拶	久保田康正会長	◇ 1分間スピーチ	— 同
◇ 下田クラブ会長挨拶	土屋誠会長	◇ スマイル	親睦委員会
◇ ゲスト・ビジターご紹介	久保田康正会長	◇ 委員会報告	各委員会
◇ 来賓紹介	ご来賓の皆様	◇ 出席率・スマイル報告	担当委員会
◇ 富士山部部長挨拶(公式訪問)	長田俊児部長	◇ 閉会の言葉	山本健 Y's
◇ 伊東クラブ書記報告	浅倉秀行 Y's	◇ 閉会点鐘	下田クラブ 土屋誠会長

*The Y's Men's Club of Shimoda*  
 THE SERVICE CLUB OF YMCA  
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL OF Y'S MEN'S CLUBS

事務局: 〒415-0305 静岡県南伊豆町二条 327  
 (土屋 誠 会長 宅) ☎ 0558-62-2511  
 第40期会報委員会: 委員長: 清野大樹(☎ 090-2798-4529)

## 今月の聖句

主はノアに言われた、「あなたと家族とはみな箱舟にはいりなさい。あなたがこの時代の人々の中で、わたしの前に正しい人であるとわたしは認めたからである。

*Yahweh said to Noah, "Come with all of your household into the ship, for I have seen your righteousness before me in this generation.*

創世記 第7章1節

## 12月例会出席等 報告

在籍者	9名	正会員数	8名
内休会員	1名	功労会員	1名

出席者数	7名
出席率	100%
ゲスト	18名
ビジター	4名
メネット・コメット	7名
出席者総数	36名

11月 メイキャップ	0名	修正出席率	%
------------	----	-------	---

## 下田クラブ

1月 Happy Birthday

21日 長田俊児 31日 清野大樹

1月 Wedding Anniversary はおりません

12月スマイル	19,000円
スマイル累計	107,000円

キャップ累計	0.0kg
プルタブ累計	0.0kg



## 12月チャリティークリスマス家族会 報告



12月18日いつもより30分早い6時から下田ベイクロシオにおいて開かれた。風もなく暖かい日でした。金刺幸春すぎのこ作業所理事長をはじめ、伊東クラブから久保田会長ら4人、平田ファミリーは6人、櫻井ファミリーは5人、土屋成子メネットの友人は毎年多数の方々に参加していただいています。その他 OB など全部合わせて36人の人が集まりました。感謝感激です。

始めの30分、土屋恒夫 Y's が司会し、定例の例会(会長の開会点鐘、開会の言葉、ワイズソング、ワイズの信条、会長挨拶、出席者紹介、書記及び委員会報告)を手短に行う。

セレモニーが終わってここからクリスマス家族会。平田 Y's が進行役。はじめに40周年を迎えたすぎのこ作業所に些少の寄付を金指理事長にお渡しし、挨拶をお願いした。そして、長田 Y's の食前の感謝



があり“Merry Christmas”で会食。クラッカーが鳴り響き、会場の真ん中に据えられたビュッフェに舌鼓した。

食事が少し進んだところで、下田吹奏楽団が“ジングルベル”をオープニング演奏、楽しい曲を沢山演奏して場を盛り上げました。

次は、抽選会、受付で抽選券を購入して一喜一憂しながら抽選結果を心待ちにした。1等から5等まで空クジなし、一等の抽選者は平田菜津紀でした。花のオークションが無いのは残念と言う来客者もおりました。

12月誕生祝いは櫻井ファミリーの佐藤陽子さんお一人でした。スマイル沢山いただきました。



臼井 Y's の閉会の言葉、会長の閉会点鐘で楽しいチャリティークリスマス家族会はお開きとなった。

## 日記を常に書くは“我が家の流”

書記 土屋恒夫

### (1) 人が日記を書く理由

「人はなぜ山に登るのか。」  
「そこに山があるからだ。」の言葉がある。英国のレジェンド登山家 G. Mallory がリポーターの問いに答えたものだ。同様に我々が日記を書くのも「ここに日記帳があるから。」となるのだろうか。



下田高校創立者依田佐二平翁は北海道開拓へ出立する弟・勉三の送別の宴で「辛酸を常に楽しむは我が家の流」と詠んでいる。思うに私が日記を書き続けるのも土屋家の流(家系)であるような気がする。

69 歳で亡くなった祖父は物書きに熱中する一方、毎日随想等を半世紀間書き留めたと聞いたことがある。その血筋を受け継いだ父や静岡や沼津の叔父さん達もこぞって日記を記(しる)している。

### (2) 今も生きる叔父の日記

稲梓の生家の本棚に叔父が残した日記帳 23 年分(含 3 年連続日記)が鎮座している。東京へ進出した五男の叔父は万年筆で全ページを丹念に埋めている。

子供に恵まれなかった叔父夫婦の遺品の中に沢山の日記が見つかった。関係者の計らいでその内の 20 冊が長兄である私の父のもとに届けられた。異郷で亡くなり、身寄りのなかった叔父の日記は最後に実家へ戻ったのだ。父はその一冊一冊にナンバーを振り大切に守り続けた。

日記は昭和 32 年～昭和 57 年の間に綴られたものである。どの日記帳も保存状態が良好で、圧倒的な存在感で私の胸に迫る。この我が家の identity を私は畏敬と感慨の念を持って見つめる。

### (3) 12 歳の少年と嬉しい再会

手元に私が稲梓中学校 1～2 年生の時に書いた 1957 年版旺文社の学生日記がある。一時行方不明になり必死で探し出したものだ。当時溢れんばかりの愛情を持って私達を導いて下さった恩師・白井満智子先生のご指導で書いたもので、今は私の宝物だ。

以来 60 余年の歳月が経ち今年は新年号「令和」がスタートした。意を決し中学 1 年の春休みの一日を“公開”しよう。

### 【昭和 32 年 3 月 23 日(土)晴れ時々曇り】

今日はお母さんの手伝いに山へ行ったが、思ったよりも遠く、山の仕事場まで行くのにとっても疲れた。山の中から近くの広い自動車の来る所まで、もしきをしょい出すので、一回行って来るのに 40 分かかる。

それなのでととてもかんだるくて、もしきはととても重いし、肩はととても痛いし、おまけに距離が遠くて坂道なのでととてもつらかったが、このもしきを拾って一人で道までしょい出すお母さんのことを考えると、自分がかんだるいなどというわがままは言えない。

もう午後にはくたくたになってとても行けそうもなかったが、それでもがんばって午後二回運んだ。お母さんは僕の労働ぶりにととても感謝して後でだ賃をくれた。

全体的には ①家族の絆と温もり ②地域の連帯と助け合い ③他者への優しい心遣い ④夢中で勉強したこと ⑤良き仲間たちとの交流等が、素直な筆致で描かれており無性に懐かしい。同級生の中にはライバルだった故伊澤政一郎君の名前が頻繁に出て来る。そして遠くかすむ記憶をたぐり寄せながら、我を忘れてページを追う自分がいる。

### (4) 血は水よりも濃し

今回のリサーチでは思わぬ発見の喜びがあった。叔父の日記の第 1 号が私が初めて日記を付けた年と一緒だったのだ。これも同じ DNA のなせる業か、偶然の一致に運命的なものを感じる。

私の日記はその後、(A) 大学 3 年時(東京五輪の年)の旺文社の英文日記、(B) 昭和 56 年～61 年博文館日記、(C) 伊東城ヶ崎高～稲取高教諭時代の研究社の English Diary、(D) 現在の Elite Planner2019 に至る 13 冊、と続く。他にノート・手帳・ファイルに書いたものもあり、多岐にわたる。

読み返すことはほとんどないにしても、どれもが我が人生の軌跡を示す貴重な記録である。その行く先が気になることもある。だが今は父から受け継いだ土屋家の“遺産”をしっかりと守ることだ。その役割を果たすまで、私と日記の二人三脚の旅は続く……

**第467回 2月 例会**

日時: 2月19日(水) 18:30~21:0

場所: 下田ベイクロシオ

下田市柿崎 4-1

電話: 0558-27-2111

受付 清野大樹 Y's 司会 長田 俊児 Y's

開会の言葉 白井 啓太郎 Y's

ワイズの信条 司 会

食前の感謝 土屋 健治 Y's

閉会の言葉 土屋 恒夫 Y's

**第8回 2月 運営委員会 案内**

日時: 2月4日(火) 18:00 ~

場所: 可否館(1丁目 TEL:0558-22-8092)

(定例 毎月第1火曜日)

**お知らせ**

白井啓太郎 Y's が新しく親睦委員長となりました。(平田充浩 Y's の休会にともない)

**パソコン実践ルーム**

誰でも参加できます。各自でPCを用意します。

第34回 2月8日(土) 14:00~ 長田宅

1台のパソコンを複数の人が使う、パブリックフォルダー

第35回 2月22日(土) 14:00~ 土屋恒夫宅

google ドライブと OneDrive のファイル共有

**富士山部クラブ・YMCA・東日本区行事予定**

## ● 第2回 富士山部 役員会・評議会

日時: 2020年1月25日(土)

場所: 熱海YMCAセンター

役員会 13:00 ~ 14:00

評議会 14:15 ~ 16:00

## ● 第3回 富士山部 役員会・評議会及び次期役員研修会

日時: 2020年5月23日(土)

場所: 熱海YMCAセンター

(ホスト 富士宮クラブ)

## ● Change!2022 シンポジウム

2020年2月1日(土) 13:00 ~ 16:30

東京YMCA 社会体育・保育専門学校 2F

東京都江東区東陽2丁目2-15

下田から3人出席予定

## ● 伊東クラブ2月例会

2月10日(月) TOFで例年欠席

## ● 伊東クラブ3月例会

3月9日(月) 18:30 ~ 暖香園/伊東市

## ● 沼津・三島・御殿場 合同例会

1月14日(火) 18:30~

ニューウェルサンピア沼津/沼津市

## ● 熱海Gクラブ 例会

1月22日(水) 18:30 ~

KKRホテル熱海 /熱海市

## ● 熱海クラブ 例会

1月27日(月) 18:30 ~

KKRホテル熱海 /熱海市

## ■ 第7回 子供箏曲体験教室

日時: 3月20日(金) (祝日) 9:00 ~ 11:30

場所: 下田市民文化会館 2階大会議室

対象: 保育園児から中学生

**他クラブ等訪問**

- ・ 1月8日(水) 富士・富士宮 合同例会

ホスト: 富士クラブ

場所: ホテルグランド富士 /富士市

参加者: 長田 富士山部部長、白井 部書記、清野 部副書記 s

